

県立がんセンターの現状と課題

1 現状

(1) 政策医療、高度・専門医療の提供

がんセンターは、がんに関する専門的かつ高度な診療機能を確保し、都道府県がん診療連携拠点病院として、ともに指定を受けている東北大学病院との機能分担や連携により、がん診療に係る各分野の強化・充実を図るとともに、併設した研究所においては、病院との連携により、がん克服を目指した基礎及び応用研究を行うなど、本県におけるがんの制圧拠点としての役割を担っている。

<主な取組>

- ・がんの種類や患者の状況に応じて最適な治療を提供するため、手術、放射線治療や化学療法を組み合わせた集学治療の推進
- ・緩和ケア病棟において、多職種チームによるカンファレンスを実施
- ・研究所における、医療機能や医療水準の向上に向けた基礎及び臨床研究の実施

(2) がん拠点病院としての取組

- ・東北大学病院と並び「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定【平成18年(2006年)から】
各診療科と連携した診療体制の構築を図り、手術療法、放射線療法、薬物療法を組み合わせた集学的治療や緩和ケアの提供、がん患者の病態に応じた適切な治療・ケアの普及を実施。
- ・がんゲノム医療連携病院に選定【平成30年(2018年)から】

(3) 医療環境の変化

少子高齢化の進行や生活習慣病の増加等による疾病構造の変化、医療技術の進歩等による医療の高度化・専門化、医師・看護師不足の深刻化、さらには県民の安全・安心な医療や医療の質への関心の高まりなど、近年、医療環境は急速に変化している。

(4) 国による医療制度改革の動向

地域医療構想や公立病院改革ガイドラインなどにより、公立病院には効率的な医療提供が求められる一方、診療報酬の抑制基調が続き、入院から外来への移行や在院日数の短縮化もあり、県が多額の運営費を負担し続けても経営は厳しさを増している。

<国の方針>

①経済財政運営と改革の基本方針2018(抜粋)【平成30年6月15日閣議決定】

(医療・介護医療体制の効率化とこれに向けた都道府県の取組の支援)

公立・公的医療機関については、地域の医療需要等を踏まえつつ、地域の民間病院では担うことができない高度急性期・急性期医療や不採算部門、過疎地等の医療提供等に重点化するよう医療機能を見直し、これを達成するための再編・統合等の議論を進める。

②地域医療構想の進め方について(抜粋)【H30.2.7付け 厚生労働省医政局地域医療計画課長通知】

県立がんセンター(中略)等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
→ 公立病院において提供することが必要であるのかどうか、民間医療機関との役割分担を踏まえ公立病院でなければ担えない分野に重点化されているか。

③公立病院改革の推進について（抜粋）【H27.3.31 付け 総務省自治財政局長通知】

（新公立病院改革ガイドライン 3新改プランの内容（1）地域医療構想を踏まえた役割の明確化）

公立病院に期待される主な機能を具体的に例示すれば、①山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供、②救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供、③県立がんセンター、県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供、④研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能などが挙げられる。（中略）

当該公立病院は、都道府県が策定する地域医療構想を踏まえて、地域の医療提供体制において果たすべき役割を明確にすることが必要である。

また、その際には、当面の診療科目等の医療提供内容だけでなく、構想区域における病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量等が示される地域医療構想と整合性のとれた形で、当該公立病院の将来の病床機能のあり方を示すなどの具体的な将来像が示されていなければならない。

（５）経営状況

県立3病院（循環器・呼吸器病センター、精神医療センター、がんセンター）の効率的運営を図るため、平成23年4月から、それまでの地方公営企業法に基づく運営から地方独立行政法人に移行し、「県立病院機構」として柔軟で弾力的な病院運営に取り組んできた。

これにより、県立病院機構は平成26年度まで黒字経営を続けてきたが、医療環境の急激な変化により、平成27年度以降は赤字が常態化している。

がんセンターは、県立病院機構において収益の中心となる病院であり、これまで一貫して黒字となっているが、近年は収益力が大きく低下している。

県の運営費負担金が毎年20億円以上投入され、それを含めた純利益は平成29年度（2017年）で約1億円となっている。このため、運営費負担金を除いた場合は純損失に陥り、その額は平成25年度（2013年）の約1.5億円から年々増加し、平成29年度（2017年）では約2.2億円となっている。

○病院機構の収支状況

（単位：百万円）

		H25決算 (2013)	H26決算 (2014)	H27決算 (2015)	H28決算 (2016)	H29決算 (2017)
循・呼 センター	負担金除く純損益	▲ 1,502	▲ 1,515	▲ 1,375	▲ 1,346	▲ 1,372
	負担金額	1,052	1,079	1,018	868	1,000
	純損益	▲ 450	▲ 437	▲ 358	▲ 478	▲ 372
精神医療 センター	負担金除く純損益	▲ 731	▲ 761	▲ 747	▲ 720	▲ 874
	負担金額	935	906	923	931	818
	純損益	204	145	176	212	▲ 57
がん センター	負担金除く純損益	▲ 1,507	▲ 1,770	▲ 2,105	▲ 2,058	▲ 2,161
	負担金額	2,146	2,218	2,130	2,192	2,276
	純損益	639	448	26	134	115
本部 事務局	負担金除く純損益	▲ 216	▲ 203	▲ 202	▲ 177	▲ 171
	負担金額	50	49	26	9	7
	純損益	▲ 166	▲ 153	▲ 176	▲ 169	▲ 163
法人 全体	負担金除く純損益	▲ 3,955	▲ 4,248	▲ 4,429	▲ 4,301	▲ 4,578
	負担金額	4,182	4,253	4,097	4,000	4,101
	純損益	227	5	▲ 332	▲ 301	▲ 477

○主な悪化要因

(1) 人件費の増加

- ①集学治療棟開設に伴うコメディカルの増加（2013年から）
- ②3：3夜勤の導入による看護師の増加（2014年から）
- ③循呼センターからの職員の異動による過員配置
- ④標準報酬制移行に伴う給与負担の増
- ⑤人事院勧告準拠による給与負担の増 ※2018年は勧告実施見合せ
→人件費の増加に見合う収益を確保できていない

(2) 入院基本料の変更

- 2018年10月から「10対1」への完全移行
→診療報酬の減少が見込まれる。

*資料 P.7～13 （参照）

2 宮城県立がんセンターの状況

- (3) 入院患者数・入院収益の推移
- (4) 外来患者数・外来収益の推移
- (5) 病床稼働率等の状況
- (6) 職員数及び人件費の状況
- (7) 地域における医療提供の状況

(6) 宮城県内のがんの状況

資料 P.14～17 参照

2 課題

- (1) 高齢化に伴う合併症への対応
 - ・専門病院のままで対応できるか。近隣に連携可能な病院はあるか。
- (2) 多額の県負担金を投入して果たすべきがんセンターの役割
 - ・県内のがん診療の均てん化に伴い、他病院との競合が発生。
- (3) 施設の経年劣化
 - ・建築から26年経過し、経年劣化により多額の修繕費用が見込まれる。

宮城県立がんセンターの現状と課題（資料編）

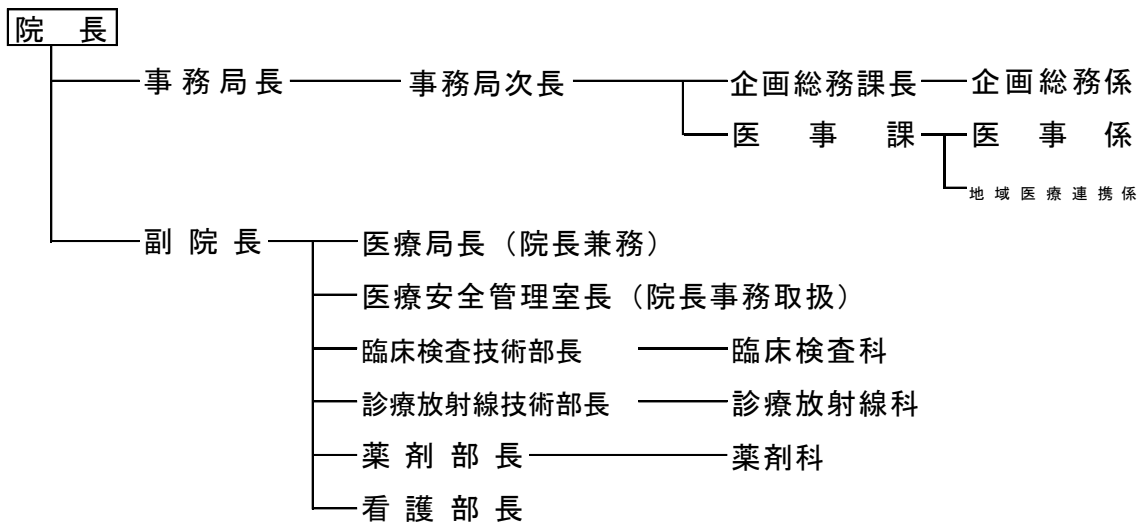
1 県立がんセンターの概要

所在地	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1 東北本線名取駅から2.1km（バス7分，徒歩30分）																														
施設規模	①土地 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">敷地面積</td> <td>69,290.0㎡</td> </tr> <tr> <td>用途地域</td> <td>なし</td> </tr> </table> ②建物 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建築物</th> <th style="width: 20%;">延床面積(㎡)</th> <th style="width: 20%;">建設年月</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館</td> <td style="text-align: center;">23,486㎡</td> <td style="text-align: center;">平成5年4月 (1993年)</td> <td>鉄筋コンクリート 地上7階，地下2階</td> </tr> <tr> <td>研究棟</td> <td style="text-align: center;">5,055㎡</td> <td style="text-align: center;">平成5年4月 (1993年)</td> <td>鉄筋コンクリート 地上3階，地下2階</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア病棟</td> <td style="text-align: center;">1,668㎡</td> <td style="text-align: center;">平成14年6月 (2002年)</td> <td>鉄筋コンクリート 地上1階，地下1階</td> </tr> <tr> <td>集学治療棟</td> <td style="text-align: center;">2,205㎡</td> <td style="text-align: center;">平成25年10月 (2013年)</td> <td>鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上1階，地下2階</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">32,414㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			敷地面積	69,290.0㎡	用途地域	なし	建築物	延床面積(㎡)	建設年月	備考	本館	23,486㎡	平成5年4月 (1993年)	鉄筋コンクリート 地上7階，地下2階	研究棟	5,055㎡	平成5年4月 (1993年)	鉄筋コンクリート 地上3階，地下2階	緩和ケア病棟	1,668㎡	平成14年6月 (2002年)	鉄筋コンクリート 地上1階，地下1階	集学治療棟	2,205㎡	平成25年10月 (2013年)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上1階，地下2階	合計	32,414㎡		
敷地面積	69,290.0㎡																														
用途地域	なし																														
建築物	延床面積(㎡)	建設年月	備考																												
本館	23,486㎡	平成5年4月 (1993年)	鉄筋コンクリート 地上7階，地下2階																												
研究棟	5,055㎡	平成5年4月 (1993年)	鉄筋コンクリート 地上3階，地下2階																												
緩和ケア病棟	1,668㎡	平成14年6月 (2002年)	鉄筋コンクリート 地上1階，地下1階																												
集学治療棟	2,205㎡	平成25年10月 (2013年)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上1階，地下2階																												
合計	32,414㎡																														
病床数	許可病床数383床（稼働病床381床） <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border: none;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> H5(1993).4～：308床 H7(1995).6～：358床（6階病棟50床診療開始） H14(2002).6～：383床（緩和ケア病棟25床診療開始） </td> </tr> </table>			{	H5(1993).4～：308床 H7(1995).6～：358床（6階病棟50床診療開始） H14(2002).6～：383床（緩和ケア病棟25床診療開始）																										
{	H5(1993).4～：308床 H7(1995).6～：358床（6階病棟50床診療開始） H14(2002).6～：383床（緩和ケア病棟25床診療開始）																														
沿革	昭和42年（1967年）4月 宮城県成人病センター開設 平成5年（1993年）4月 県立がんセンターと名称変更し，研究所を新設 平成5年（1993年）4月 新センターに移転（200床から308床） 平成7年（1995年）6月 6階病棟診療開始（358床） 平成14年（2002年）6月 緩和ケア病棟診療開始（358床から383床） 平成23年（2011年）4月 地方独立行政法人へ移行 平成25年（2013年）10月 集学治療棟開棟																														
診療科目	血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，消化器内科，頭頸部内科，緩和ケア内科，循環器内科，糖尿病・代謝内科，呼吸器外科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器外科，婦人科，頭頸部外科，眼科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，歯科，臨床検査科																														

(1) 機構組織図

(平成30年3月31日現在)

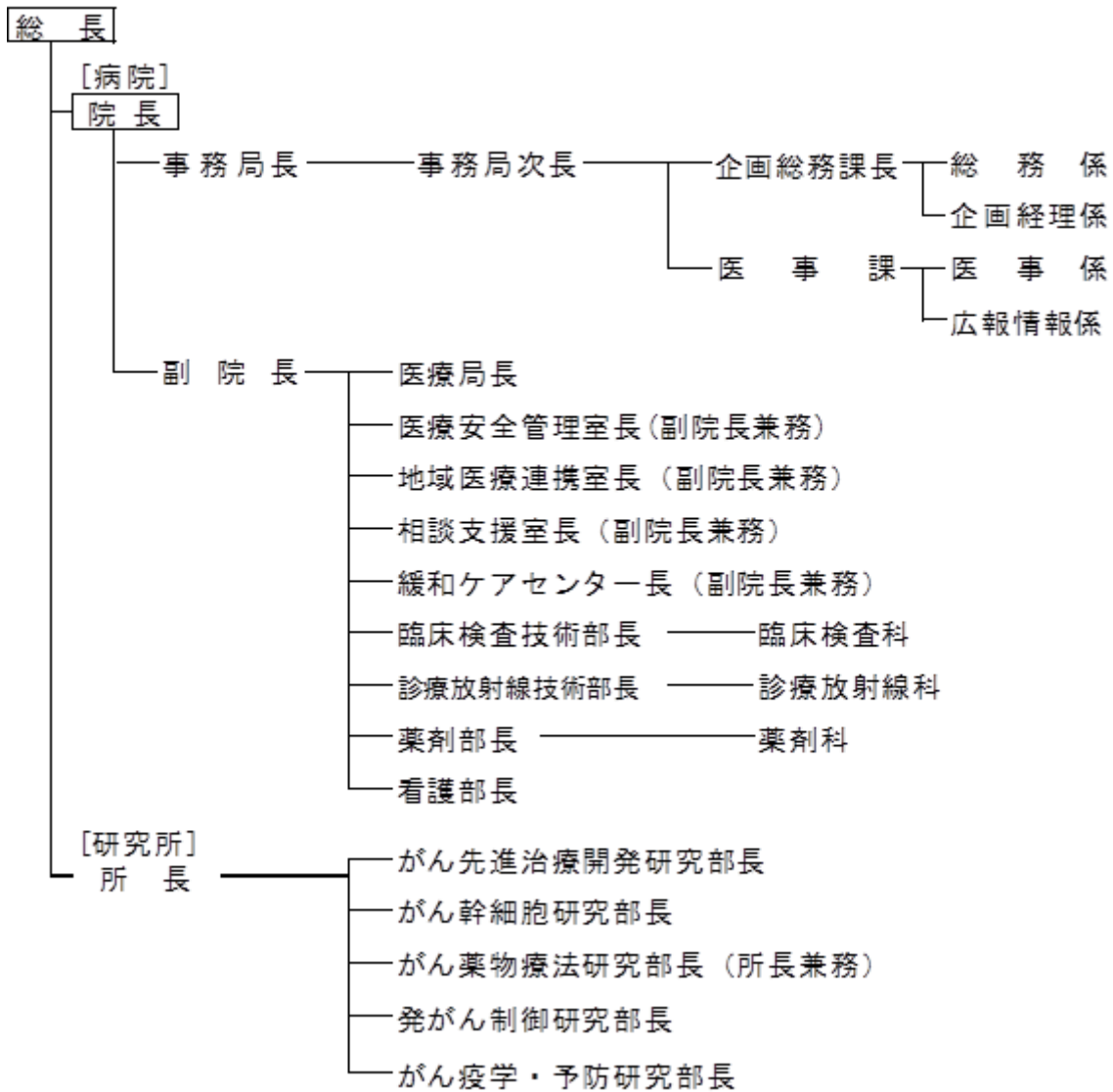
【 循環器・呼吸器病センター 】



【 精神医療センター 】



【 がんセンター 】



【 本 部 】



2 宮城県立がんセンターの状況

(1) 運営状況

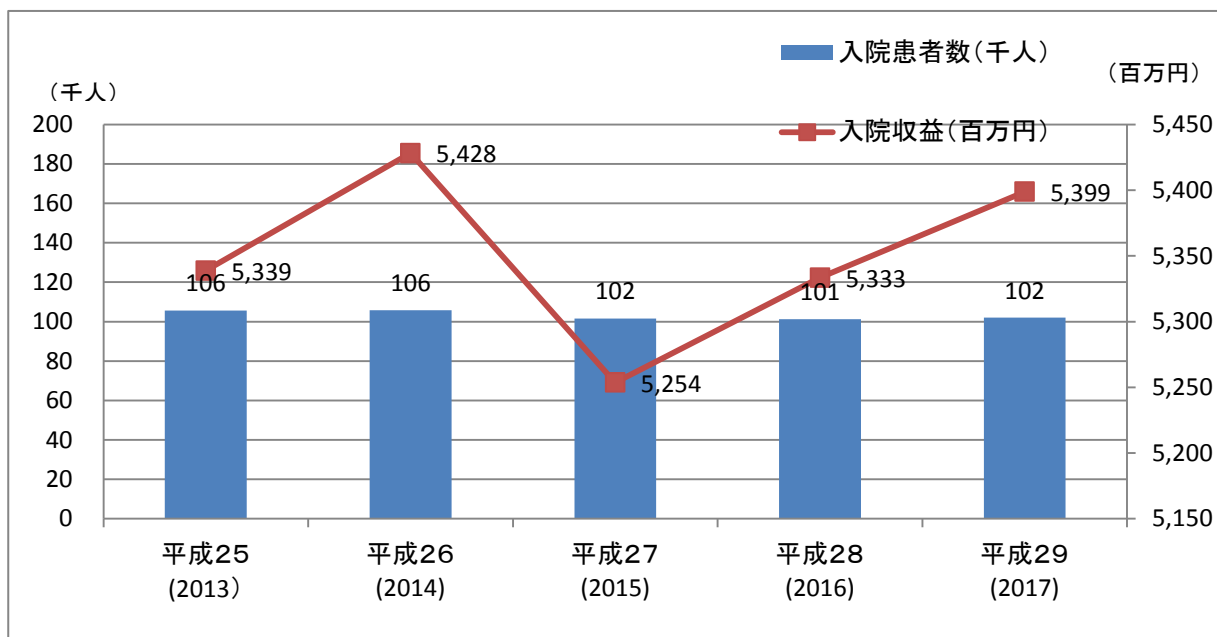
区分	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度① (2016)	平成29年度② (2017)	②-①	②/①	
稼働病床数	383床	383床	380床	381床	381床	0床		
医師数	74人	76人	74人	78人	77人	-1人		
入院	病床稼働率	75.5%	75.6%	72.5%	72.5%	0.5%	100.7%	
	延べ入院患者数	105,585人	105,747人	101,618人	101,307人	101,994人	687人	100.7%
	1日あたり入院患者数	289.3人	289.7人	278.4人	277.6人	279.4人	1.8人	100.6%
	新規入院患者数	5,337人	5,476人	5,545人	5,746人	5,868人	122人	102.1%
	平均在院日数	19.8日	19.3日	18.3日	17.6日	17.3日	-0.3日	98.3%
外来	診療単価	50,564円	51,331円	51,701円	52,646円	52,933円	287円	100.5%
	延べ外来患者数	80,004人	82,510人	80,186人	82,648人	85,784人	3,136人	103.8%
	1日あたり外来患者数	327.9人	338.2人	329.9人	340.1人	351.6人	11.5人	103.4%
	新規外来患者数	5,897人	5,802人	5,936人	5,608人	5,809人	201人	103.6%
診療単価	26,567円	29,003円	36,199円	41,391円	40,723円	-668円	98.4%	

(2) 経営状況

(単位：百万円)

科 目	H25決算 (2013)	H26決算 (2014)	H27決算 (2015)	H28決算 (2016)	H29決算 (2017)	
I 営業収益(A)	7,686	8,035	8,403	9,013	9,126	
1 医業収益	7,652	7,996	8,358	8,967	9,082	
(1)入院収益	5,339	5,428	5,254	5,333	5,399	
(2)外来収益	2,125	2,393	2,903	3,421	3,493	
(3)その他医業収益	188	175	202	213	189	
2 その他	34	39	45	46	45	
II 営業費用(B)	9,021	9,655	10,376	10,945	11,168	
1 医業費用	8,805	9,323	9,994	10,526	10,739	
(1)給与費	4,195	4,497	4,568	4,711	4,756	
(2)材料費	2,326	2,414	2,879	3,351	3,361	
(3)経費	1,363	1,395	1,442	1,394	1,490	
(4)減価償却費	793	907	973	946	997	
(5)その他	129	110	131	123	134	
2 一般管理費	0	0	0	0	0	
3 その他	216	333	382	419	429	
営業損(△)益(C)=(A)-(B)	△ 1,335	△ 1,621	△ 1,973	△ 1,931	△ 2,042	
III 営業外収益(D)	48	56	69	65	61	
IV 営業外費用(E)	218	216	206	192	173	
経常損(△)益(F)=(C)+(D)-(E)	△ 1,505	△ 1,781	△ 2,110	△ 2,058	△ 2,154	
V 臨時利益(G)	3	12	6	0	1	
VI 臨時損失(H)	5	2	0	0	8	
当年度純損(△)益(I)=(F)+(G)-(H)	△ 1,507	△ 1,770	△ 2,105	△ 2,058	△ 2,161	
運営費負担金(J)	2,146	2,218	2,130	2,192	2,276	
繰出根拠別						
内訳	国基準(地方交付税対象)	1,272	1,356	1,337	1,376	1,372
内訳	県独自基準	874	862	793	816	904
性質別						
内訳	病院の運営費に対する負担金額	1,451	1,427	1,392	1,397	1,452
内訳	医療機器及び施設整備に対する負担金額	695	791	738	795	824
運営費負担金含む純損(△)益(K)=(I)+(J)	639	448	26	134	115	

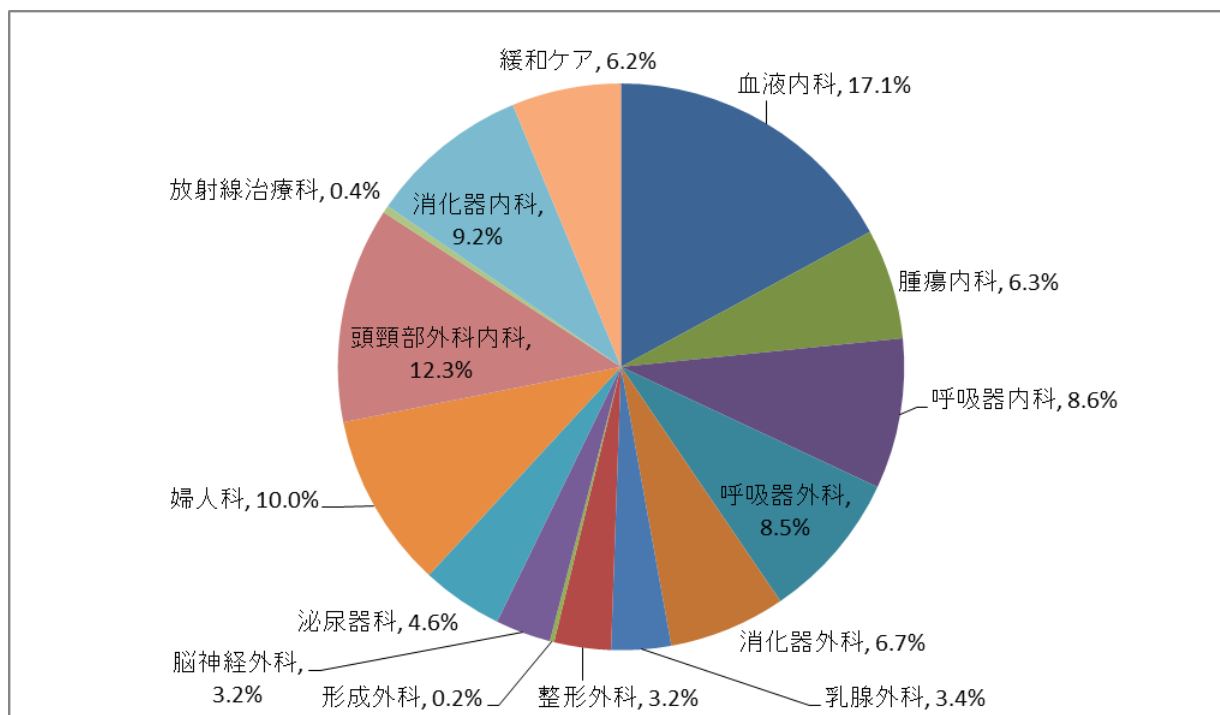
(3) 入院患者数・入院収益の推移



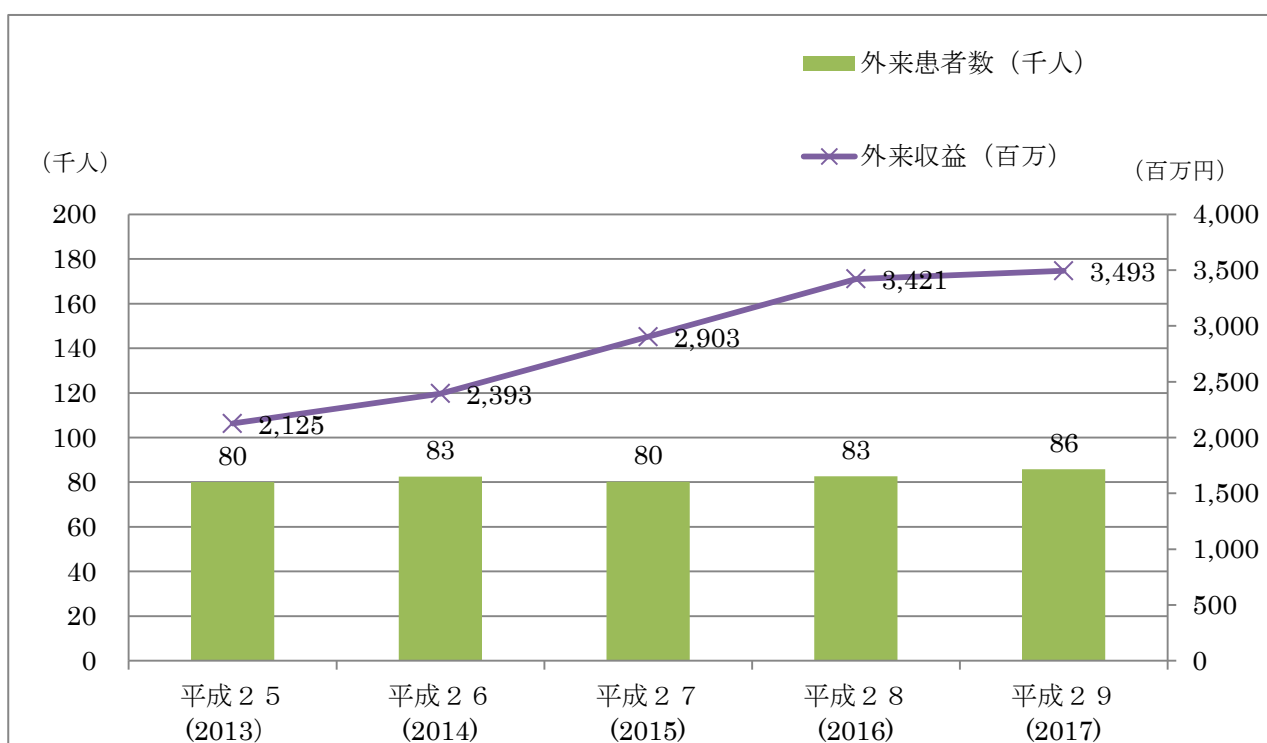
①入院収益，患者数診療科目内訳

診療科	平成27(2015)			平成28(2016)			平成29(2017)		
	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比
血液内科	11,322	766	14.6%	13,812	924	17.3%	14,135	923	17.1%
循環器内科	0	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%
腫瘍内科	7,500	340	6.5%	7,838	337	6.3%	7,333	340	6.3%
呼吸器内科	10,029	440	8.4%	9,556	443	8.3%	10,272	463	8.6%
呼吸器外科	5,897	472	9.0%	6,158	443	8.3%	6,525	460	8.5%
消化器外科	7,099	413	7.9%	6,558	400	7.5%	5,501	360	6.7%
乳腺外科	2,913	171	3.3%	2,506	151	2.8%	2,958	184	3.4%
整形外科	5,498	218	4.1%	4,531	194	3.6%	4,156	175	3.2%
形成外科	160	11	0.2%	328	15	0.3%	179	13	0.2%
脳神経外科	4,512	228	4.3%	3,840	187	3.5%	3,399	171	3.2%
泌尿器科	5,482	279	5.3%	6,649	304	5.7%	4,852	251	4.6%
婦人科	9,073	467	8.9%	9,413	487	9.1%	10,777	540	10.0%
眼科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
頭頸部外科内科	11,436	577	11.0%	10,391	579	10.9%	12,036	665	12.3%
放射線治療科	2,021	79	1.5%	942	40	0.8%	490	22	0.4%
麻酔科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
消化器内科	12,081	481	9.2%	12,018	502	9.4%	12,221	495	9.2%
緩和ケア	6,595	312	5.9%	6,770	327	6.1%	7,160	337	6.2%
合計	101,618	5,254	100%	101,310	5,333	100%	101,994	5,399	100%

②平成29年度(2017年)入院収益 診療科目 構成比



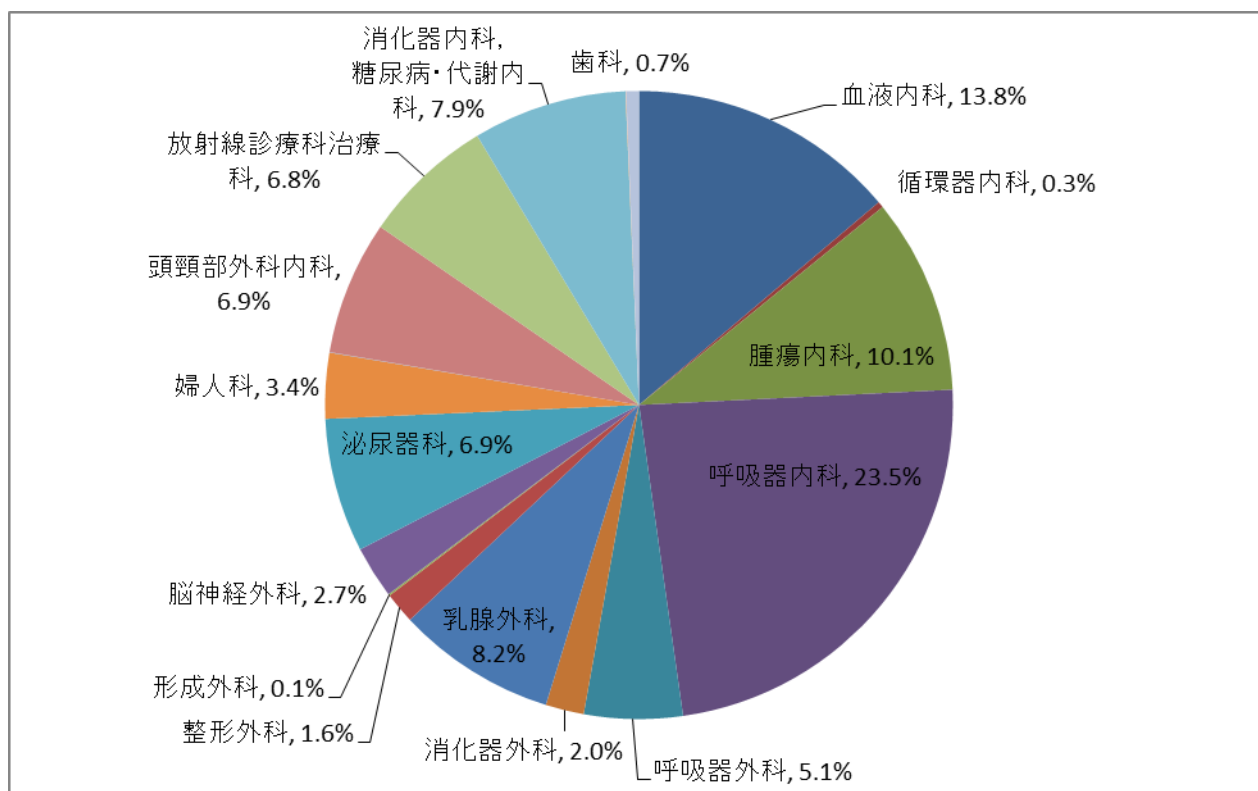
(4) 外来患者数・外来収益の推移



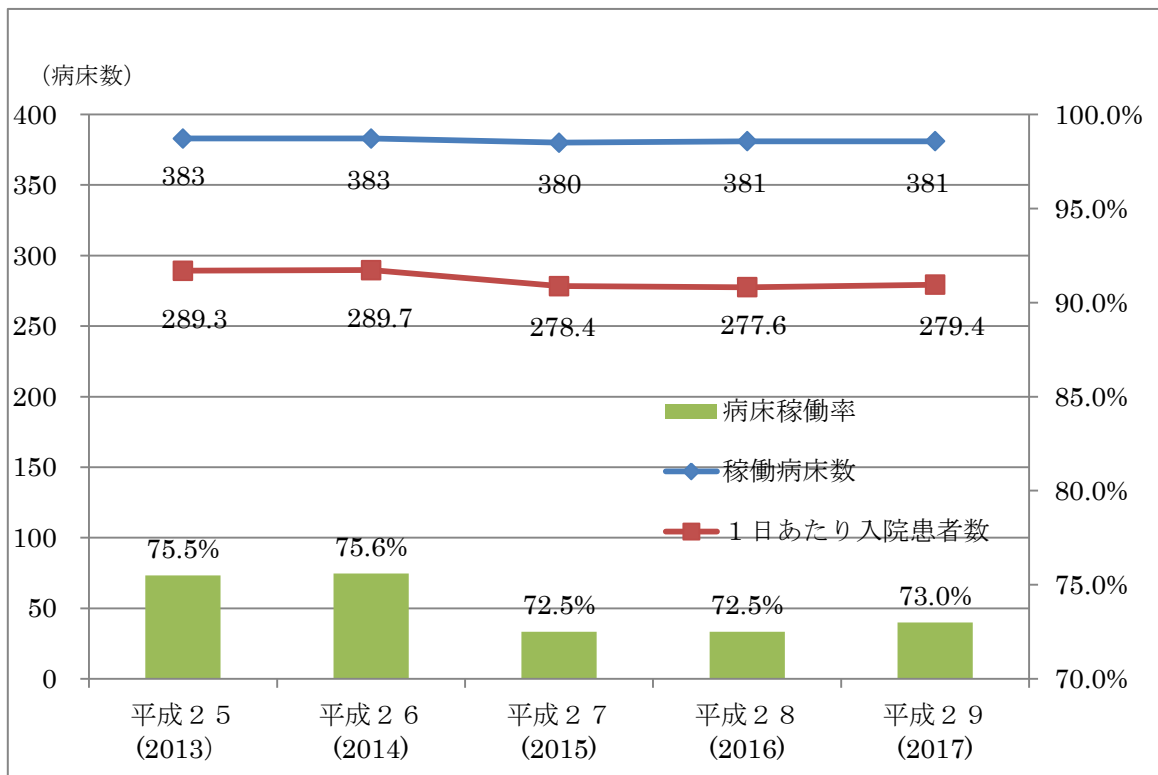
①外来収益，患者数診療科目内訳

診療科	平成27(2015)			平成28(2016)			平成29(2017)		
	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比	患者数(人)	収益(百万円)	収益構成比
血液内科	6,983	373	12.8%	7,091	423	12.4%	7,811	483	13.8%
循環器内科	1,392	11	0.4%	1,271	11	0.3%	1,264	11	0.3%
腫瘍内科	3,928	329	11.3%	4,170	338	9.9%	4,575	352	10.1%
呼吸器内科	5,982	424	14.6%	6,439	911	26.6%	6,829	822	23.5%
呼吸器外科	3,115	113	3.9%	3,192	124	3.6%	3,408	177	5.1%
消化器外科	3,690	68	2.3%	3,691	71	2.1%	3,592	69	2.0%
乳腺外科	6,057	278	9.6%	5,774	269	7.9%	6,150	287	8.2%
整形外科	3,147	65	2.2%	3,338	61	1.8%	2,928	56	1.6%
形成外科	534	3	0.1%	573	4	0.1%	577	3	0.1%
脳神経外科	790	83	2.9%	846	84	2.5%	810	94	2.7%
泌尿器科	8,785	241	8.3%	8,750	243	7.1%	8,149	241	6.9%
婦人科	5,436	85	2.9%	5,364	91	2.7%	5,405	118	3.4%
眼科	293	2	0.1%	118	0.8	0.0%	81	0.8	0.0%
頭頸部外科内科	6,431	150	5.2%	6,980	168	4.9%	7,691	241	6.9%
放射線診療科治療科	6,264	159	5.5%	7,465	201	5.9%	8,236	237	6.8%
麻酔科	11	0.1	0.0%	10	0.1	0.0%	7	0.1	0.0%
消化器内科， 糖尿病・代謝内科	14,227	495	17.1%	13,388	397	11.6%	12,983	277	7.9%
緩和ケア	233	2	0.1%	210	0.8	0.0%	204	0.9	0.0%
歯科	2,888	22	0.8%	3,978	23	0.7%	5,084	23	0.7%
合計	80,186	2,903	100%	82,648	3,421	100%	85,784	3,493	100%

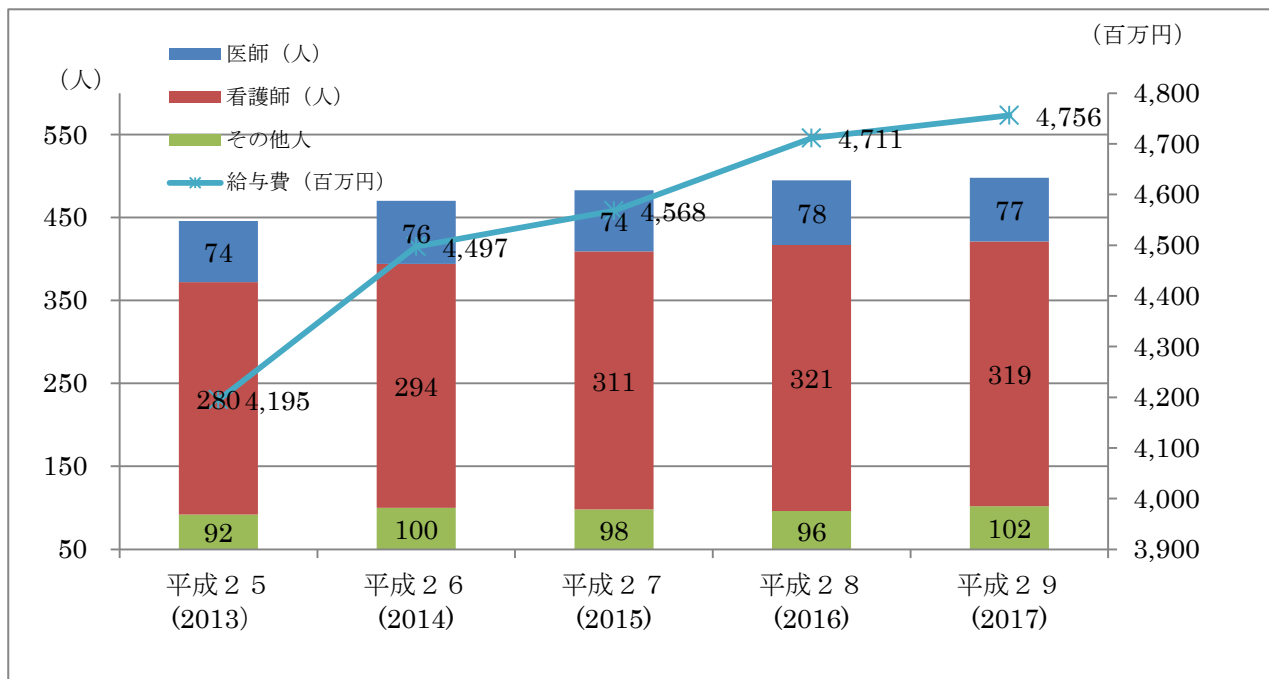
②平成29年度(2017年)外来収益 診療科目 構成比



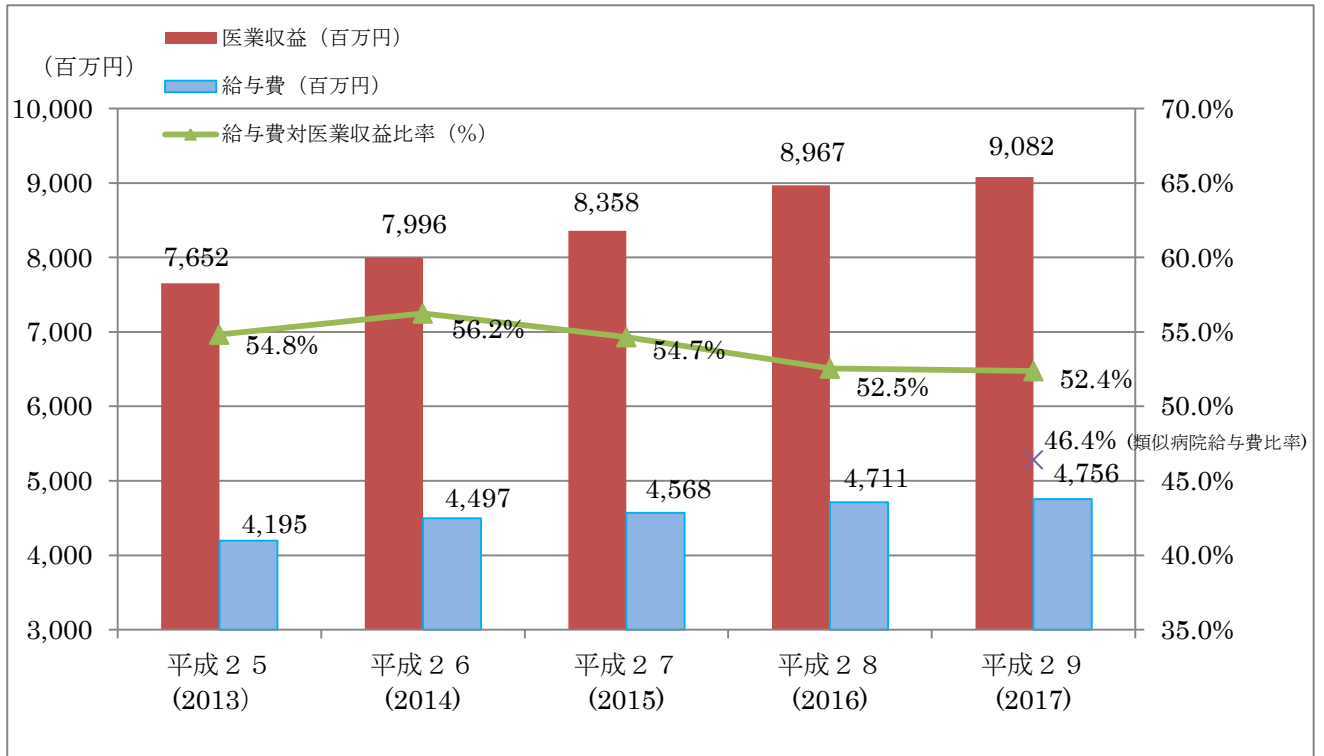
(5) 病床稼働率等の状況



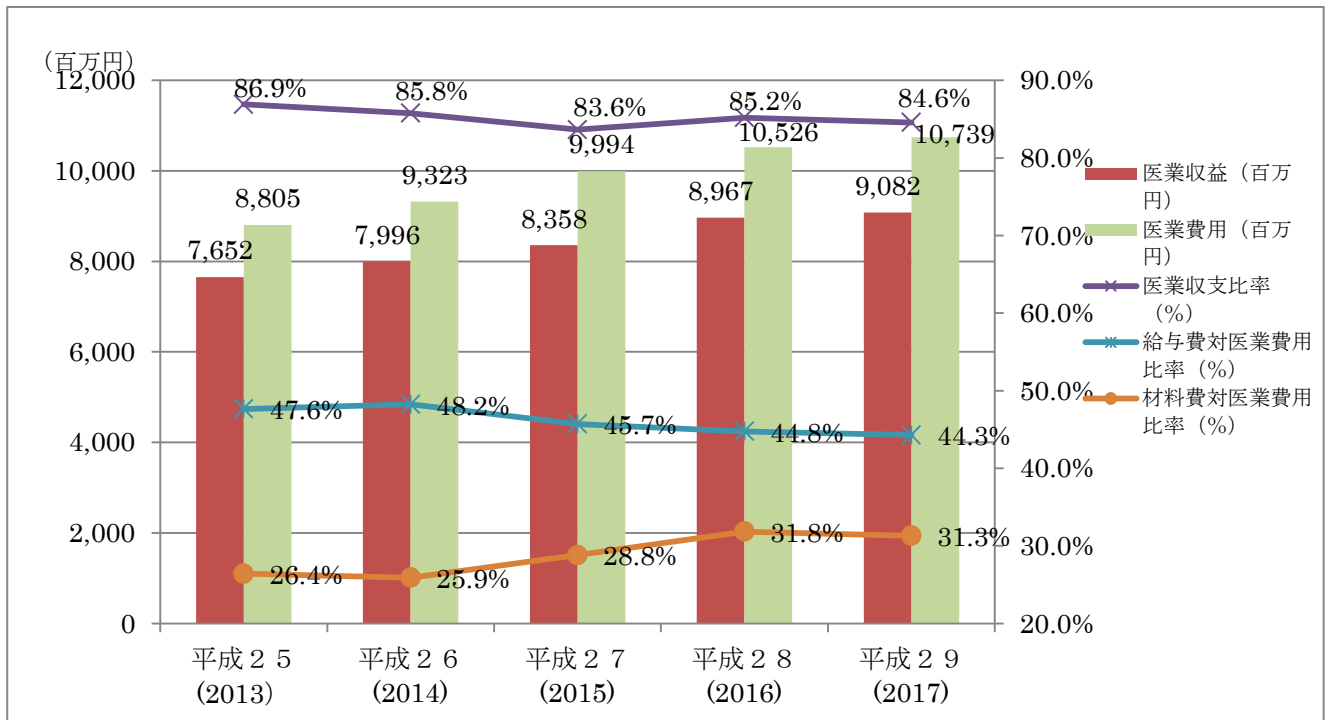
(6) 職員数及び人件費の状況



① 医業収益に対する給与費の状況

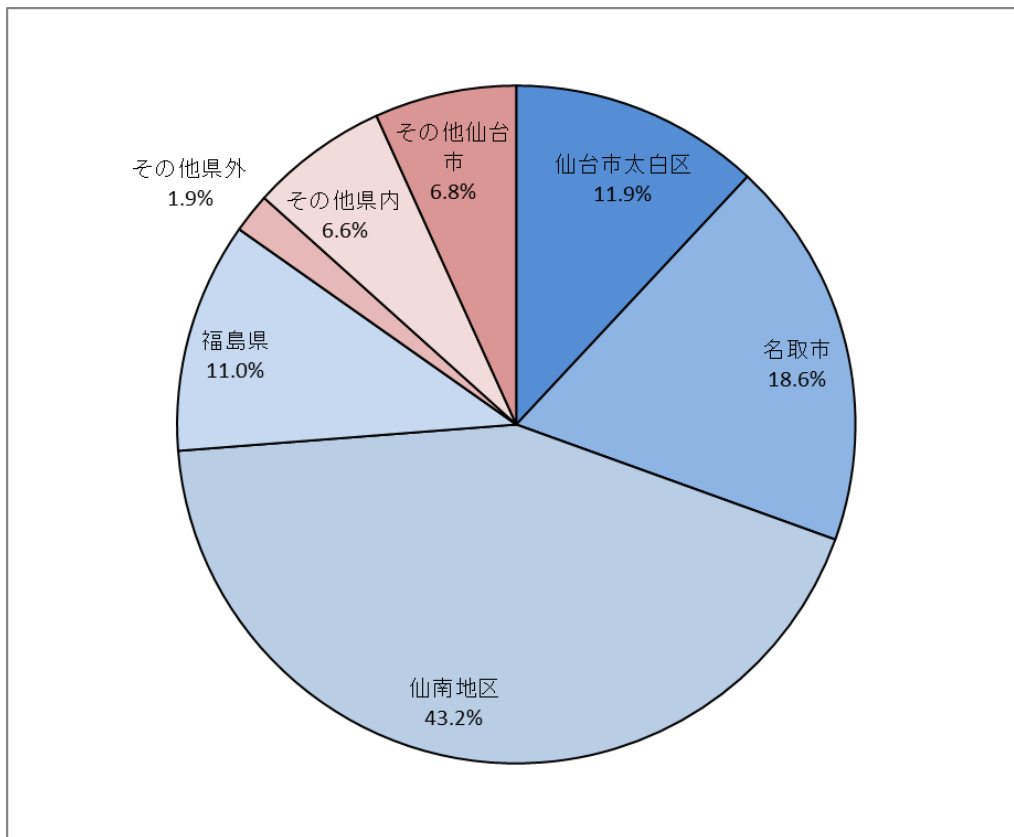


② 医業収支と給与比率等の状況

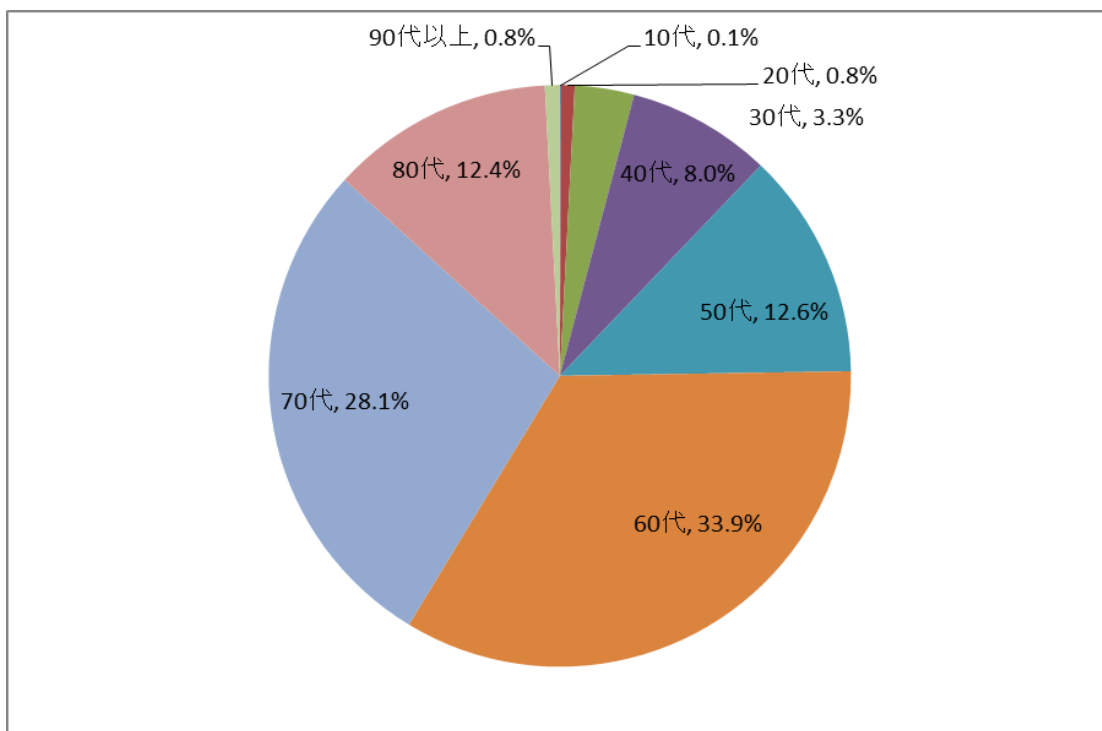


(7) 地域における医療提供の状況

①がんセンター新規登録患者数の市町村別状況 平成29年度(2017年) ※H29がんセンター年報より
 仙台市太白区以南の県南地域と福島県で84.7%を占めている。



②がんセンター新規登録患者数の年齢別状況 平成29年度(2017年) ※H29がんセンター年報より
 新規登録患者のうち、50歳以上が占める割合は87.8%、60歳以上が占める割合は、75.2%を占めている。



3 宮城県内のがんの状況 ※第7次宮城県地域医療計画より転載

(1) 宮城県では年間約6千人の県民ががんで亡くなっている。今後の高齢化が進行することを踏まえると、がんに罹患する人、がんが原因で死亡する人は今後も増加が見込まれる。

宮城県のがん関連の統計

	宮城県	全 国	出 典
悪性新生物総患者数	29,000 人	1,626,000 人	「平成 26 年患者調査」(厚生労働省)
人口比	1.2%	1.3%	「人口推計」(平成 26 (2014) 年 10 月 1 日現在) (総務省統計局)
悪性新生物による年間死亡者数	6,663 人	372,986 人	「平成 28 年人口動態調査」(厚生労働省)
死因に占める割合	28.4%	28.5%	「平成 28 年人口動態調査」(厚生労働省)
悪性新生物の年齢調整死亡率 (人口 10 万対)	男性 160.5 女性 84.5	男性 165.3 女性 87.7	「平成 29 年度人口動態統計特殊報告」(厚生労働省)
悪性新生物年間罹患数	15,694 人	862,452 人	「宮城県のがん登録平成 23 年集計」(県保健福祉部) 地域がん登録全国推計値 (2013) (国立がん研究センター)

(2) 部位別に見たがんの罹患数は、男性が胃、大腸、肺の順に多く、死亡数は肺、胃、膵臓の順となっている。女性の罹患数は乳房、大腸、胃の順で、死亡数は肺、結腸、膵臓の順となっている。

部位別にみたがんの罹患と死亡の状況

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
罹 患					
男	胃	大腸	肺	前立腺	肝臓
女	乳房	大腸	胃	肺	子宮
計	胃	大腸	肺	乳房	前立腺
死 亡					
男	肺	胃	膵臓	結腸	肝臓
女	肺	結腸	膵臓	乳房	胃
計	肺	胃	膵臓	結腸	肝臓

出典：罹患は「宮城県のがん登録平成 23 年集計」(県保健福祉部)、死亡は「平成 28 年人口動態統計」(厚生労働省)

※大腸がんは結腸がんと直腸がんを合わせたもの

がんの罹患の年次推移

		37年	40年	43年	48年	53年	58年	63年	5年	10年	15年	20年
		~39年	~42年	~47年	~52年	~57年	~62年	~平成4年	~9年	~14年	~19年	~23年
罹患数	総計	7,616	8,497	14,454	18,053	23,065	29,428	36,747	44,548	54,776	67,664	59,634
	1年平均罹患数	2,539	2,833	2,891	3,611	4,613	5,885	7,349	8,909	10,956	13,532	14,909
	男	4,034	4,319	7,790	9,845	12,753	16,552	21,161	26,096	32,038	40,406	34,679
	1年平均罹患数	1,345	1,440	1,558	1,969	2,551	3,310	4,232	5,219	6,408	8,081	8,670
	女	3,582	4,178	6,664	8,208	10,312	12,876	15,586	18,452	22,738	27,258	24,955
	1年平均罹患数	1,194	1,393	1,333	1,642	2,062	2,575	3,117	3,690	4,548	5,451	6,239

出典：「宮城県のがん」(宮城県新生物レジストリー)

※最新データが平成 23 (2011) 年であるため、平成 20 (2008) - 23 (2011) 年は 4 年間のデータとなっている。
 ※平成 23 (2011) 年データは、登録方式の変更や、新システムに移行した過去のデータと重複して集計されたものが含まれるなどシステム上の制約が生じ、過去との単純な比較が困難である。

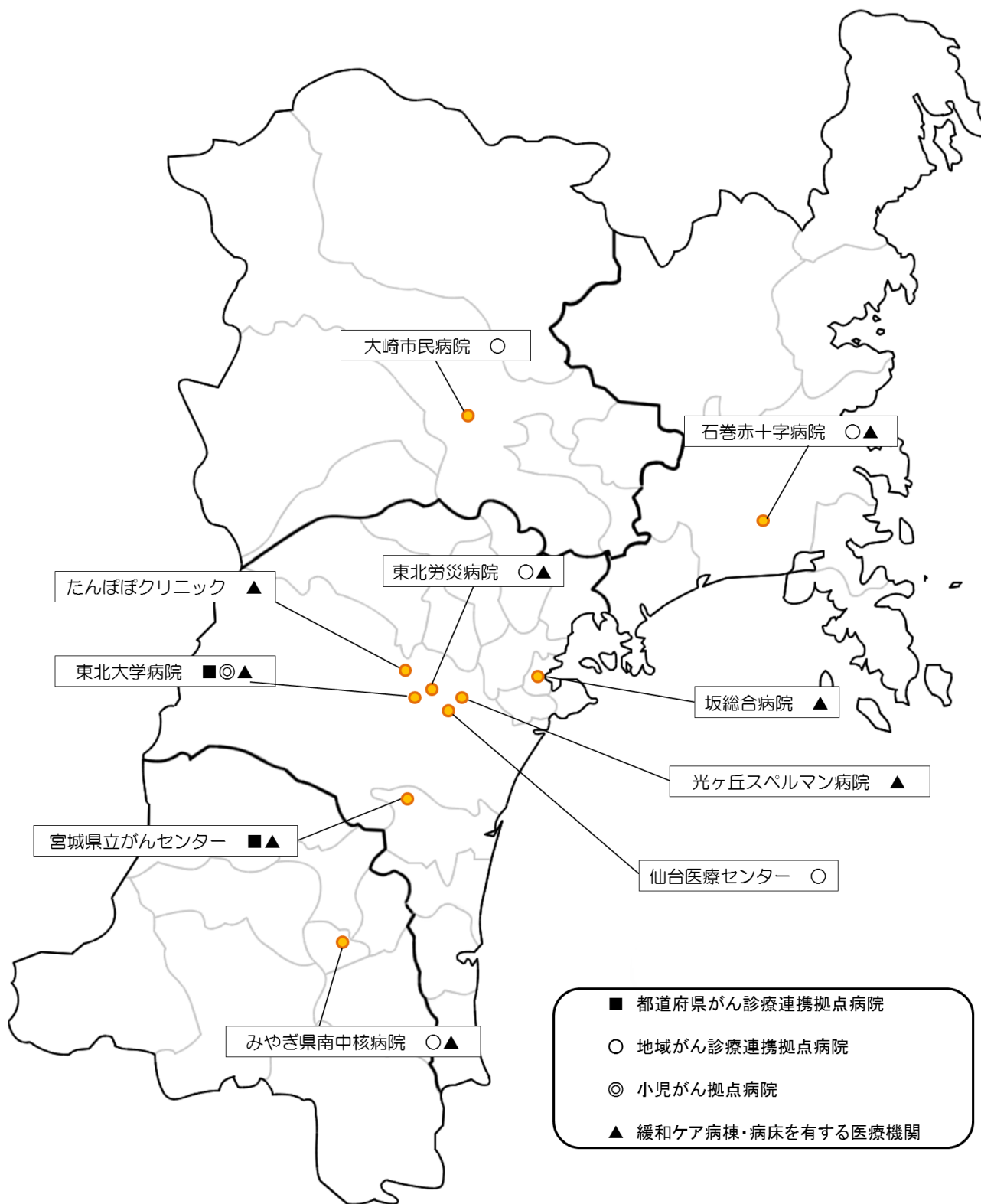
(3) 高齢化の増加に伴い、がんの罹患数及び死亡数も増加しているが、年齢調整死亡率は男女とも減少傾向にある。

がん死亡数・年齢調整死亡率（人口10万対）



(4) がんの医療機能の現況

① がん診療連携拠点病院等・緩和ケア病棟・病床を有数医療機関



② 外来療法を実施している医療機関

